



津田小だより

松江市立津田小学校

令和8年7月14日

校長 小林 敏朗

今週金曜日で登校日数 69 日間（1 年生は 68 日間）の 1 学期が終わります。新しい友達との出会い、学級開きから始まり、日々の各教科の学習や学校生活、当番活動や係活動、委員会活動、津田っ子大運動会や宿泊研修などの学校行事、校外学習など、子どもたちはたくさんの経験を積み重ねた 1 学期となりました。

5 年生の宿泊研修から…

6 月 18 日（木）19 日（金）の 2 日間、5 年生は国立三瓶青少年交流の家に宿泊研修に行ってきました。1 週間ぐらい前から天候を心配しましたが、当初予定していました活動をすべて行うことができました。カプラや SAP（Sanbe Adventure Program）、野外オリエンテーリング、キャンドルの集い、野外炊飯活動（カレーライスづくり）などを行いました。そして、活動だけでなく「来た時よりも美しく」掃除をしたり同じ班の友達と寝食を共にしたりしました。



SAP



カプラ



食事の様子



野外オリエンテーリング



キャンドルの集い



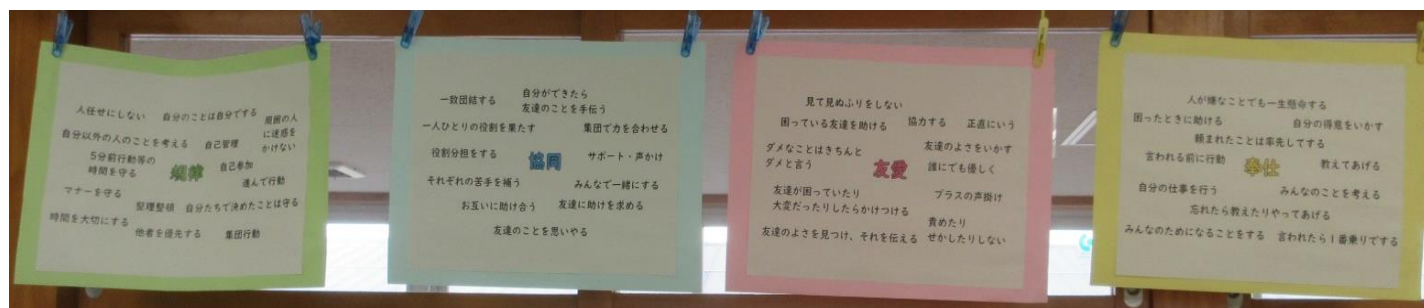
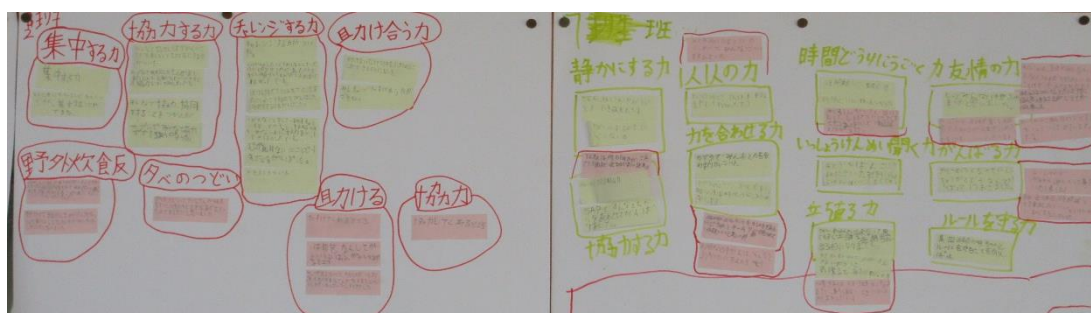
野外炊飯活動

5 年生の子どもたちのふりかえりを一部紹介します。

- カレーを作るときとかも、他の人に任せずに自分の仕事を一生懸命にやっていたいいと思った。
- 野外炊飯で使った場所をそうじした時に「来た時よりも美しく」を意識してかまどをきれいにすることができました。おいしいカレーも作れてよかったです。このことを学校で生かし、協力し、来年度の運動会やスポーツにつなげていきたいと思います。
- さんは△△さんが困っている時に、一緒にいてあげているのがすごいと思った。自分だったら面倒くさいとか「他の人がいるから、いっか」と思って助けないから（□□さんは）かっよかった。
- 来週からは学校があるので、この宿泊研修で習ったことを 5 年生らしく、自分らしく発揮していきたいと思います。その次は、6 年生らしくやっていきたいと思います。

○私は宿泊研修で友達と協力することの大切さを学びました。宿泊研修では、班のみんなと一緒に活動したり、宿泊先で生活したりしました。最初は緊張していましたが、みんなで声をかけ合いながら行動ができました。(キャンドルの集いの)「第一部 迎火のつどい」で、私は司会でしたが、みんなの前でマイクを持って発表することができました。司会が終わった後「やった!」「できた!」「うれしい!」という気持ちがあふれました。他には、司会をしてよかったなとか、この宿泊研修でいろいろ成長できたなと思いました。今回の宿泊研修を通して仲間と協力すること、時間を守ることの大切さをたくさん学びました。

子どもたちは一人一人宿泊研修のふりかえりを行いました。子どもたちは、自分の役割をしっかりと果たす大切さ、奉仕の心、友達のいいところを見つけたこと、協力することの大切さ、達成した時の充実感・満足感などを感じ取り、学びました。そして、一人一人の学びだけでなく、次の写真にあるように集団として何を学んだのか、何を身につけたのかなどのふりかえりも行いました。



先月の学校だよりも書きましたが、経験したことをふりかえることによって子どもたちは成長します。子どもたちのふりかえりや学級の掲示物等を見ても、この1泊2日の宿泊研修が子どもたちにとってとても大きな学びの場になったことを実感しました。そして、5年生のあるクラスの日記ではこのようなことを書いている子がいました。この日記のテーマは「1学期成長したこと」です。

努力する力が伸びました。自学も以前と比べものにならないほどよくなっています。量も質もです。それから友達と協力する力。今まですべて、全部自分で解決しようとしていました。しかし、協力すれば違う答えや考え方が見えてきます。そして友達に答えを教えるのはいいと思います。なぜなら知識はいくらあげても減らないからです。なので、これからはどんどん友達と知識を共有できたらいいと思いました。私たちはどんどん大人に近づいています。2学期、見方が変わって見えるようにがんばっていきたいです。(原文一部抜粋)

最後になりましたが、宿泊研修に向けて準備物や費用面、研修当日の送迎などご理解・ご協力いただきました保護者の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

七夕集会から…

7月3日（金）本校の体育館で七夕集会を行いました。この七夕集会は、コロナ禍による中止を数年はさみ、今回で15回目ということです。中学年、高学年の子どもたちにとっては夏の風物詩、大きなイベントの一つになっていることと思います。子どもたちは七夕集会当日までに各学級で短冊に願いごとを書いていました。勉強のことや自分の夢、もっと上手になりたいことや家族のこと、高学年になると戦争をやめてほしいことや世界平和のことなど、様々な思いを書いていました。この集会では、その短冊を笹竹に結びつけるところから始まりました。自分の短冊をどこに結びつけようか考えたり、なかなか結び付けることができない子には高学年が手伝ったりする姿が印象的でした。そして、すべての短冊や飾りを結びつけると、体育館の真ん中あたりに笹竹で花道をつくり、その中を子どもたちは満面の笑顔で歩いていきました。子どもたちの笑顔があふれる七夕集会になりました。

この七夕集会は、津田に七夕通りをつくろう実行委員会のみなさんが中心となって行っています。最後になりましたが、前日までの準備、当日早朝からの準備、集会終了後の片付けなど、実行委員会や地域の皆様、公民館の皆様には大変お世話になりました。おかげさまで、子どもたちにとって今年も心に残る活動を行うことができました。本当にありがとうございました。

～校長の独り言～

この七夕集会の様子を見ながら思ったことです。何年後、何十年後かわかりませんが今の子どもたちが大人になった時「そう言えば津田小学校の頃、地域のみなさんに七夕集会をしてもらったな。」「自分たちも地域の子どもたちのために七夕集会みたいなことができないかな。」などと思ってくれるといいなと思いました。そういうことを思ってくれる津田っ子であってほしいですし、そういう津田っ子を育てていきたいなと思いました。



1学期をふりかえって…

4月から始まった1学期。「新しい学年になって〇〇をがんばるぞ!」「〇〇できるように、しっかりと取り組むぞ!」と目標を立て、子どもたちは新年度、新学期のスタートをしました。また、新しい学級で、これまであまり関わっていない友達との出会いもあったことと思います。この1学期、お子さんの成長や様子を見られ、保護者の皆様はいかがだったでしょうか？

私から見ていて、子どもたちのがんばる姿がたくさん見られた1学期になりました。学習面では、授業中意欲的に挙手して発表する姿、全体での発表はできなくてもペア・グループ学習ではしっかりと自分の思いや意見を伝えられる姿、ノートをていねいに書く姿、ふりかえりをしっかりと書く姿、漢字練習や計算練習にコツコツと取り組む姿。津田っ子大運動会や5年生宿泊研修などの学校行事では、自分の役割をしっかりと果たそうとする姿、各リーダーとなりメンバーをまとめようとする姿。日頃の委員会活動では、あいさつ当番や昇降口そうじ、お昼の放送当番などの委員会活動を通して全校児童の生活を支えている姿。当番活動や係活動では、学級で配付するお便りを職員室に取りに来る

姿、黒板をきれいに消す姿、教室のメダカのお世話を一生懸命にする姿。挙げ出すときりがありません。いろいろな場面で、子どもたちの成長が感じられた1学期になりました。

今週の金曜日に通信票「のびよ津田っ子」を学級担任からお子さん一人一人にわたします。週末にでも「のびよ津田っ子」を見ながら、1学期をふりかえり、お子さんのがんばりや成長を認め、誉めていただくと喜びます。どの子も成長しています。成長していない子は一人もいません。是非、認めたり誉めたりしてください。逆に「◇◇はあまり伸びなかったな。」「◆◆はもっと伸びてほしいな。」などと思われるところもあるかもしれません。そういった部分は、子どもたちの「伸びしろ」です。まだまだ今後伸びる可能性がありますし、伸びるチャンスがあると思います。その伸びしろをどのようにして伸ばしていくのか学校でも考えていきますし、保護者のみなさまと一緒に知恵を出し合いたいと考えています。

夏休みに向けて…

今週土曜日から子どもたちが楽しみにしています夏休みです。1年生にとっては小学校生活初めての夏休み。6年生にとっては小学校生活最後の夏休みになります。この夏休み、まず子どもたちには交通事故や水難事故などの事故に遭わないように、そして大きなけがや病気もなく安全に元気に過ごしてほしいと思います。そして、家庭や地域での生活の中で正しいこと、誤っていること、「していいこと」と「してはいけないこと」を考え判断できる津田っ子であってほしいと思います。また、学習面は計画的にしてほしいのですが、できれば普段の学校生活ではできない課題にチャレンジしたり、興味のあることをとことん調べたりしてほしいと思います。およそ40日の夏休みです。夏休みを終えた時に「〇〇にチャレンジした夏休み」「□□に取り組んだ夏休み」と胸を張って言える夏休みにしてほしいと思います。また、ご家庭においてはお手伝いもできるといいなと思います。どんなことでもいいので、継続的にできるといいですね。そして、お手伝い後には保護者のみなさまから「ありがとう」とか「助かったよ」などの声かけをしていただくと喜びます。こういう声かけをしていただくと、子どもたちは張り切ってお手伝いをしますし、家族の一員としての自覚が育つことと思います。

それでは、夏休みが終わり8月28日(金)の朝、昇降口前で元気な子どもたちの顔に出会えることを楽しみにしています。